

～令和2年度第73回共同募金結果報告書～

赤い羽根だより



「ウッドデッキを改修しました！」



御礼

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に心からお見舞い申し上げます。
あわせて、コロナ禍で対応にあたられている皆様に心から感謝申し上げます。
令和2年度共同募金運動は、コロナ禍の中、多くの寄付者の皆さま、募金ボランティアの皆さまに支えられ、運動期間が終了しました。このほど全ての助成先が決定しましたので、募金実績及び助成結果につきまして、ご報告申し上げます。

今年も、10月1日から運動を開始しますが、新型コロナウイルス感染症の影響で生活に困難をきたす方々が増えているため、フードパントリー活動や子ども食堂など、生活支援の活動への助成を重点的に進めて参ります。

みなさまの変わらぬご理解・ご協力をお願い申し上げます。

令和3年6月

社会福祉法人埼玉県共同募金会
会長 池田一義



社会福祉法人埼玉県共同募金会

〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65

彩の国すこやかプラザ内

TEL 048-822-4045 FAX 048-824-9819

ホームページ

[赤い羽根](#) [さいたま](#) [検索](#)



年間通じてネット募金受付中！

活動報告

募金総額

8億 8,529万 819円

赤い羽根募金

5億 6,810万 1,697円

地域歳末たすけあい募金

2億 9,370万 8,878円

NHK歳末たすけあい募金

2,348万 244円

コロナ禍での募金活動

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、10月1日から始まった共同募金運動では、街頭募金において、募金を呼びかける音声や募金の使いみちを記載したパネルを使うなど、三密を回避する方法で協力を呼びかけました。

県本部主催の街頭募金活動は、学生ボランティアの協力で「マスク」、「赤い羽根」、「メッセージカード」を封入した募金資材を10,000セット製作して、浦和駅、大宮駅、川口駅などで配布しました。



浦和駅の募金風景



コロナ禍で広がる支援の輪

新型コロナウイルスの影響によって、日常生活に困難をきたした人々を支援するため、「つながりをたやさない社会づくり支援」のテーマを設定して募金を行った結果、個人や企業などから合計515万5,000円の寄付がありました。

寄付金は、重点助成事業として、フードパントリー活動や子ども食堂などの生活支援事業に活用されました。



社会貢献型赤い羽根自動販売機による協力

飲料を購入することで、寄付につながる「赤い羽根自動販売機」は、県内の設置台数が236台となり、この自動販売機の売り上げからの年間を通じた募金総額が299万円ありました。

この内、令和2年度は、新たに11企業・団体・施設計13台の設置協力をいただきました。



令和2年7月豪雨による被害への支援

共同募金会は、毎年の募金実績額の3%以内の額を大規模災害に備え「災害等準備金」として積み立てています。

この災害等準備金を活用し、令和2年7月豪雨による熊本県内の被災地に設置されたボランティアセンターの運営費用として総額531万円を助成しました。

助成の結果

●助成財源

(単位：円)

	赤い羽根募金	地域歳末 たすけあい募金	NHK歳末 たすけあい募金	合計
令和2年度共同募金	568,101,697	293,708,878	23,480,244	885,290,819
共同募金助成準備金 ※	57,398,051	34,448,553	20,000	91,866,604
合計	625,499,748	328,157,431	23,500,244	977,157,423

※令和元年度の助成残金及び積立期間（3年間）が満了した災害等準備金

●助成結果

(単位：円)

	赤い羽根募金	地域歳末 たすけあい募金	NHK歳末 たすけあい募金	合計
令和2年度助成額	515,505,756	281,458,735	16,152,244	813,116,735

このほか、9,926万4,000円を募金運動経費に、6,477万6,688円は次年度の助成準備金として繰り越しました。

事業分野別内訳

① 市町村社会福祉協議会が行う福祉活動に 543,295,735円 (63件)

- ・地域における子育て支援、福祉教育やサロン活動等
- ・歳末に行う低所得世帯などを対象にした慰問品配付等



② つながりをつやさない社会づくり支援に 【重点助成事業】 9,928,000円 (35件)

- ・コロナ禍により生活に困窮している世帯を対象にしたフードパントリー活動等



③ 民間団体が行う福祉を目的とした事業に 48,143,000円 (51件)

- ・障がい者の社会体験事業
- ・福祉情報の発信や相談事業等



④ 社会福祉施設の補修や備品整備に 139,392,000円 (66件)

- ・老朽化した施設の補修
- ・授産活動に必要な設備の整備、福祉車両の購入等



⑤ 県内の児童養護施設の子どもの進学費用に 7,300,000円 (8件)

- ・大学や専門学校の入学金・初年度の授業料



⑥ 子ども食堂利用者や高齢者向けサロン参加者への 物品支援に 38,500,000円 (30件)

- ・子ども食堂や高齢者向けサロン参加者へ化粧水の配付



⑦ 災害時のボランティア活動を支援するための準備金に 26,558,000円

- ・災害ボランティアセンターの開設や活動に必要な備品の購入等





助成先からの ありがとうメッセージ



「昇降式特殊浴槽の更新」

平成22年から使用していた浴槽は、経年劣化によって修繕が必要となっていました。

今回、買い替えることができ、利用者の皆さんに安心して快適なお風呂を提供することができるようになりました。

利用者の皆さんも笑顔で喜んでいただいています。
白菊苑(さいたま市)



「ウッドデッキ・下駄箱設置工事」

これまでは、狭いスペースで靴を脱いでいたため、園児が滑って足を踏み外したり、転倒する危険がありました。

広いデッキが出来上がり、園児たちは余裕をもって室内に入れるようになったため、ケガやトラブルの不安もなくなりました。

あかねの風保育園(所沢市)



「エアコンの更新」

開所以来17年使用したエアコンが故障によって限界が来ていました。

共同募金助成金によって、エアコン23台を更新することができました。エアコンの効きは素晴らしく、働くメンバーの皆さんはとても喜んでます。お陰様で、快適に作業を進めることができます。

SELP すいーつばたけ(川口市)



「地域の居場所づくり事業」

コロナ禍の中、地域の様々な人々が交流し、一緒に食事を楽しむ「ダンチでランチ」を3回開催しました。3回ごとにテーマ設定したイベントも開催し、食事はお弁当でお渡ししました。

地域の輪を広げ、今後は常設型の親子の居場所作りを目指します。

NPO 元気スタンド(幸手市)

あいの 愛ちゃん と 希望くん



©中央共同募金会

“ありがとう”の声をホームページでご紹介しています。
決算や助成先の詳細なども掲載していますので是非ご覧ください。

赤い羽根 さいたま 検索

心の「密」は絶やさない。共同募金

